

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月26日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 290-0067

住所 千葉県市原市八幡海岸通2番16

法人名 DM三井製糖株式会社 千葉工場

代表者 寺田 智明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-44-0321

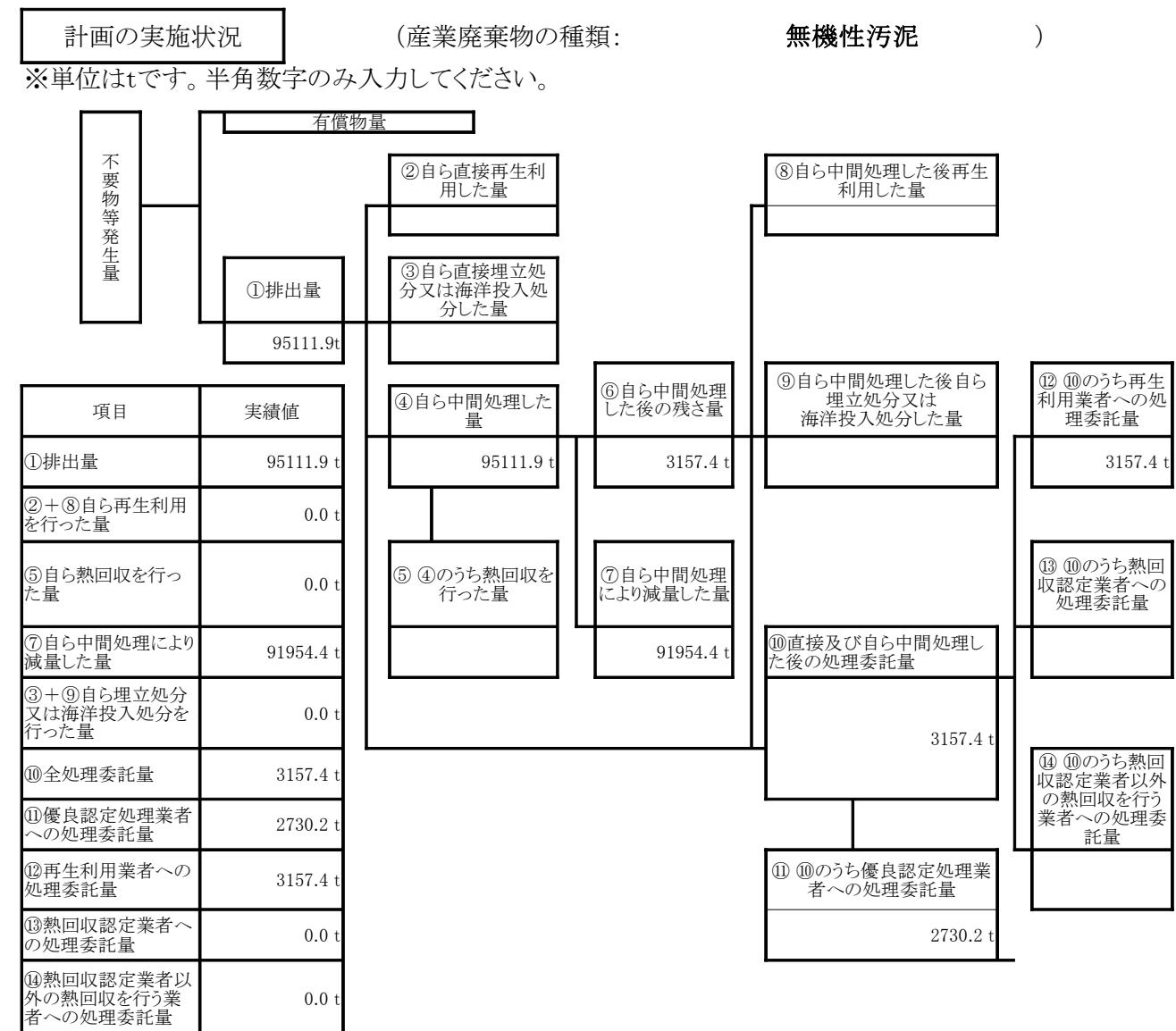
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

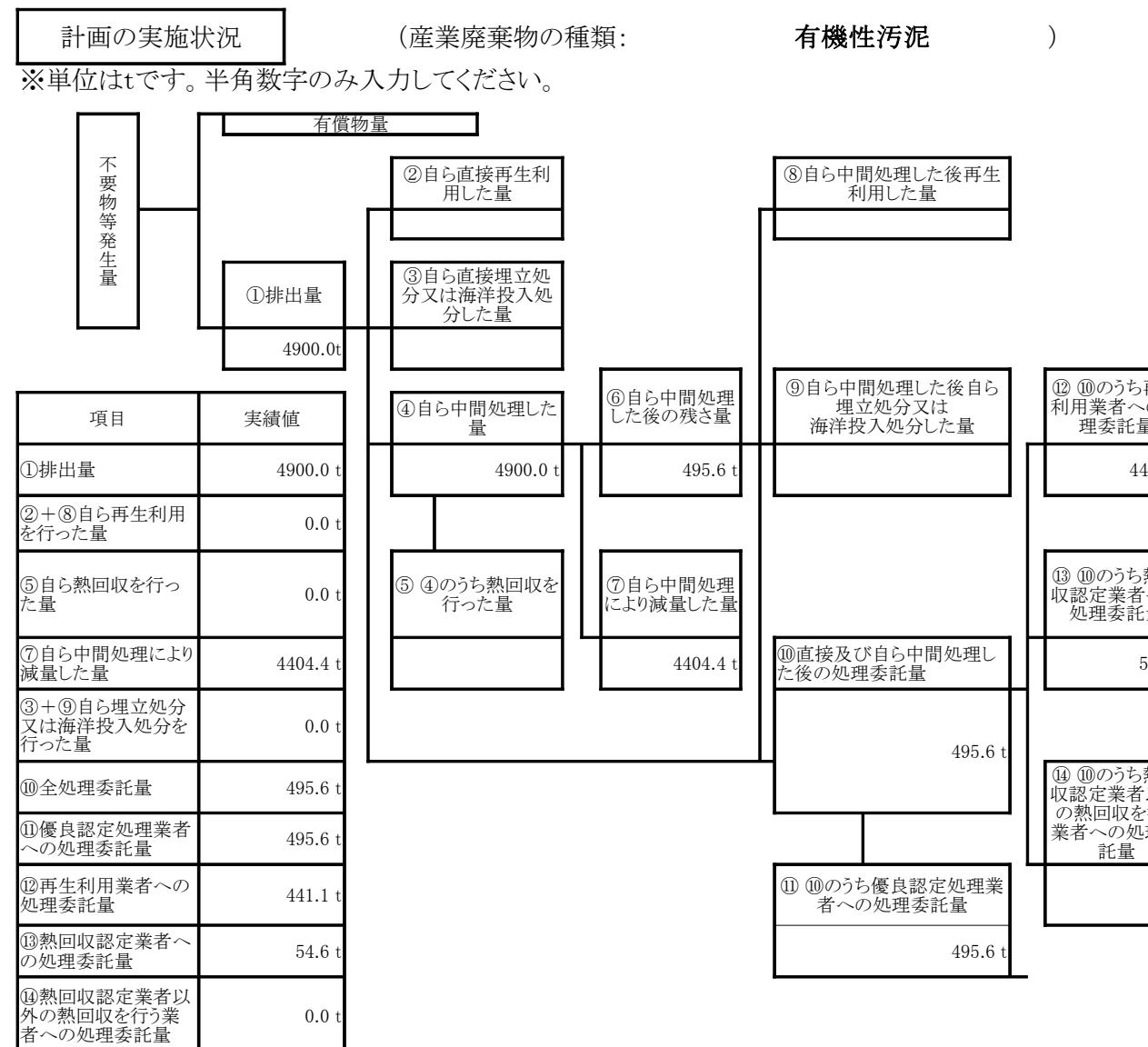
事業場の名称	DM三井製糖株式会社 千葉工場		
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通2番16		
事業の種類	大分類 製造業 中分類 食料品製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日	から	令和7年3月31日

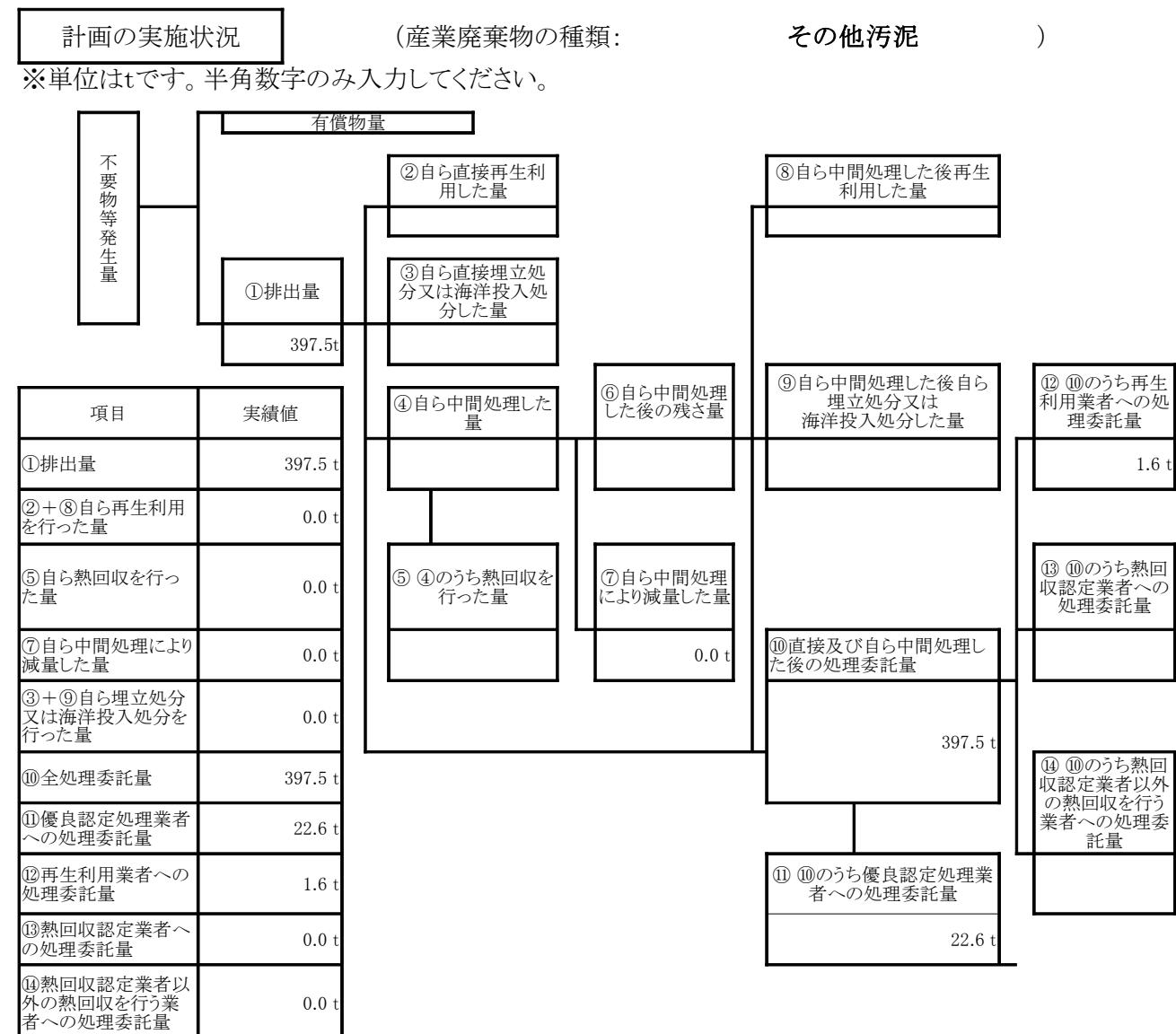
産業廃棄物処理計画における目標値

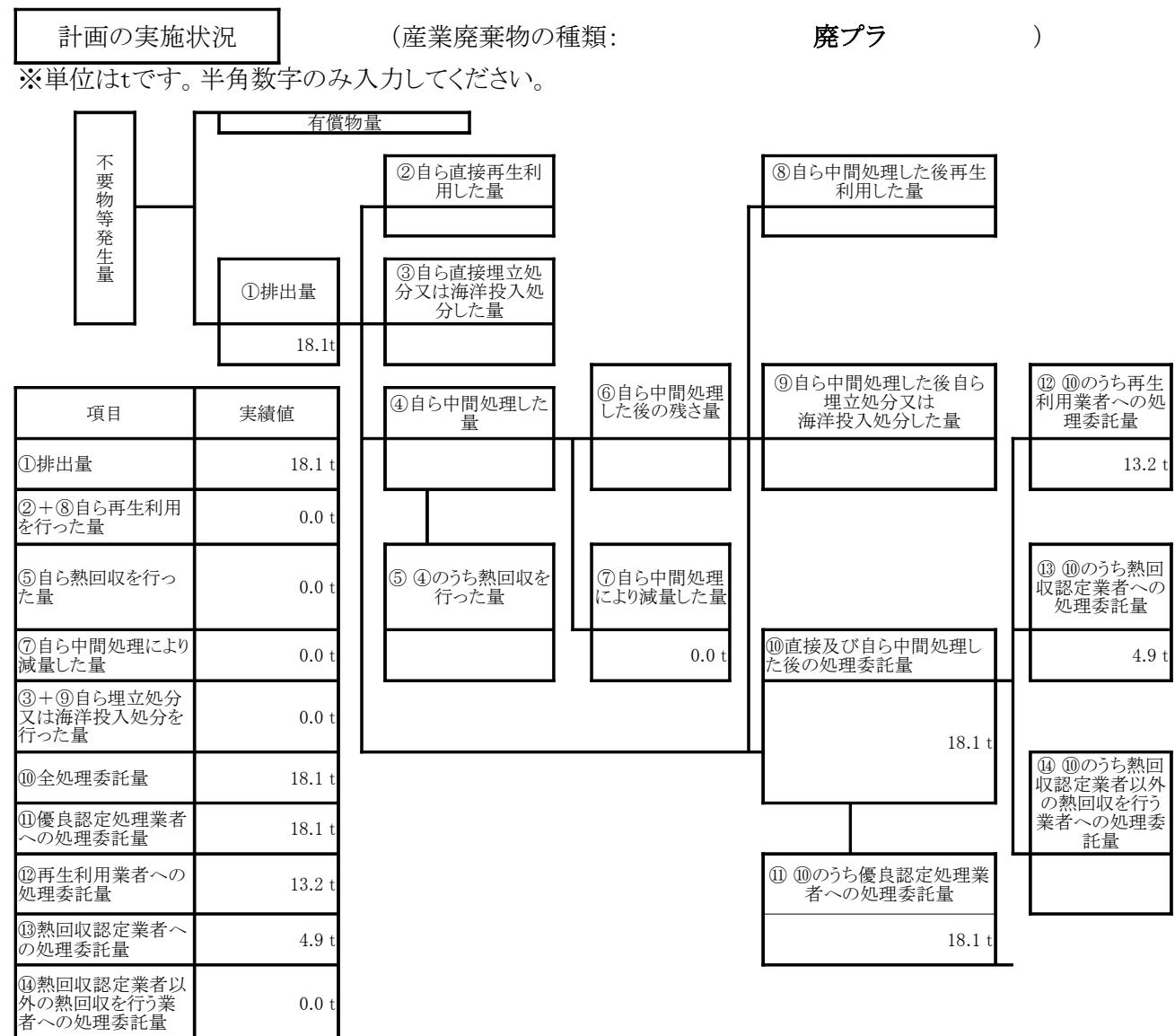
項目	目標値	項目	目標値
排出量	102873.9 t	全処理委託量	4092.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3890.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3780.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	98781.8 t	認定熱回収業者への処理委託量	110.5 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格 A列4番)









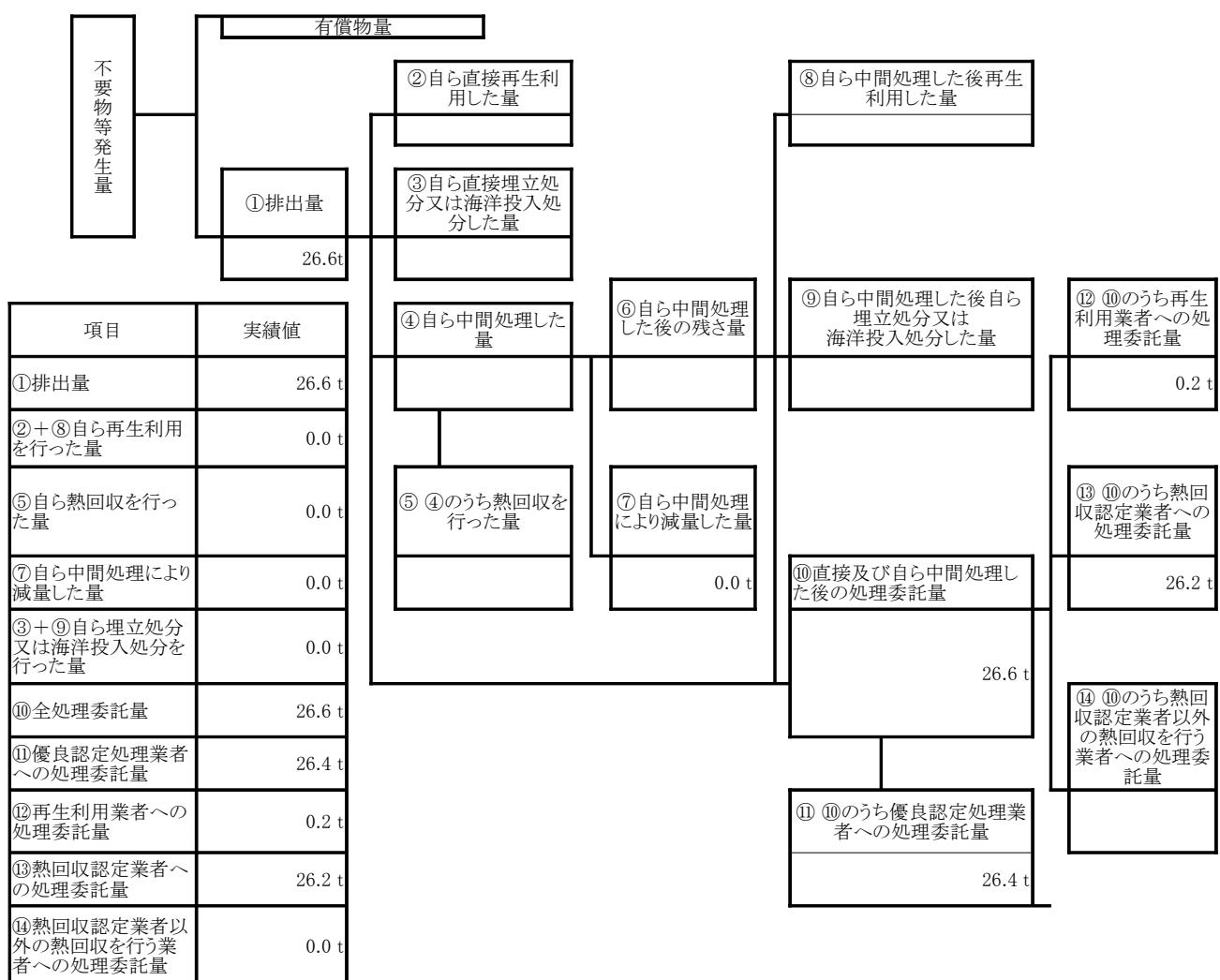
計画の実施状況

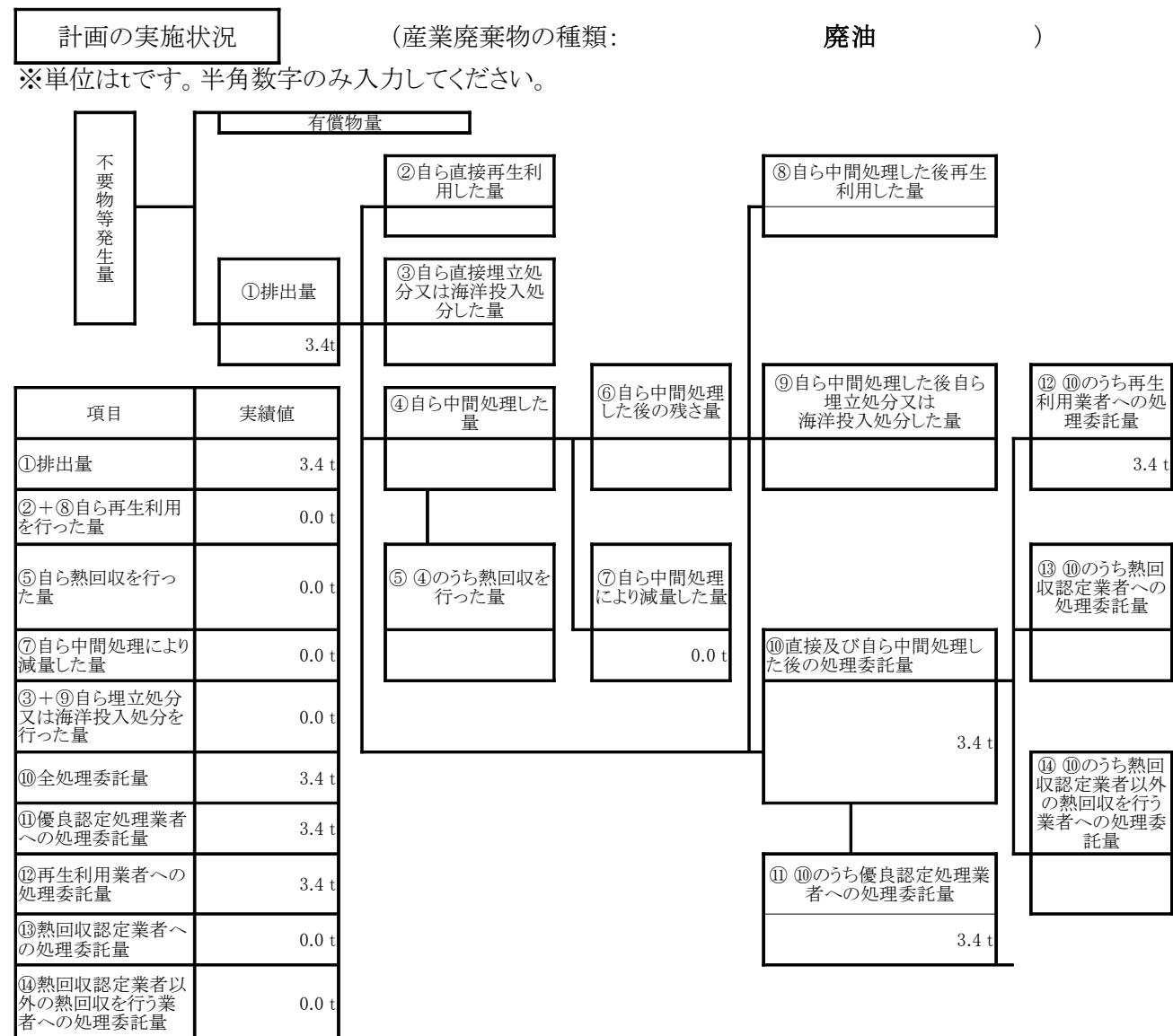
(産業廃棄物の種類:

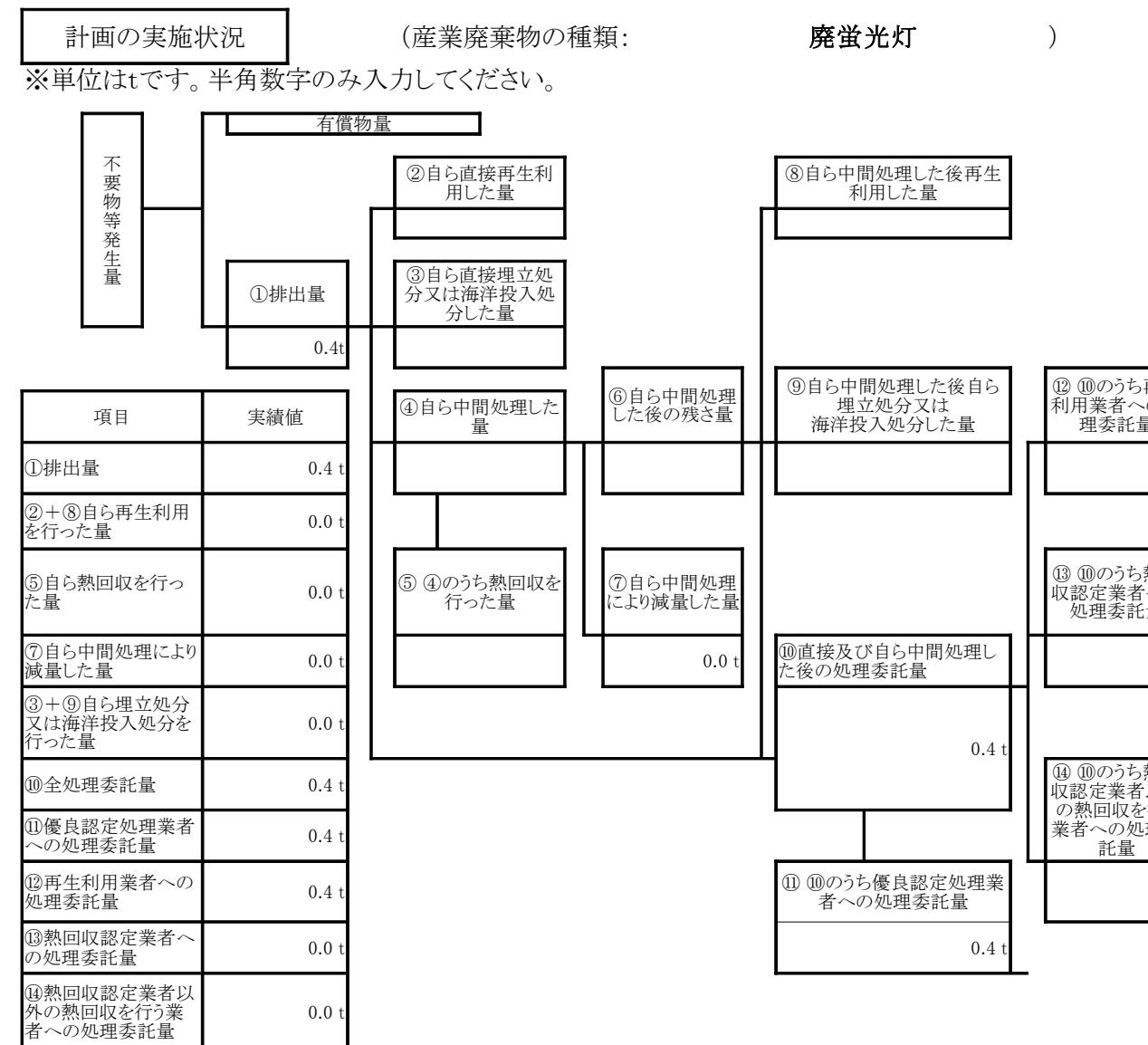
管理型混合廃棄物

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。







計画の実施状況		(産業廃棄物の種類: 廃乾電池)																																		
※単位はtです。半角数字のみ入力してください。																																				
不要物等 発生量	有償物量																																			
	①排出量 0.0t	②自ら直接再生利 用した量	⑧自ら中間処理した後再生 利用した量																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利 用を行った量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行つ た量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分 又は海洋投入処分を行つ た量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者 への処理委託量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への 処理委託量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者へ の処理委託量</td> <td>0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量</td> <td>0.0 t</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	0.0 t	②+⑧自ら再生利 用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行つ た量	0.0 t	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分 又は海洋投入処分を行つ た量	0.0 t	⑩全処理委託量	0.0 t	⑪優良認定処理業者 への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	⑬熱回収認定業者へ の処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	0.0 t	<table border="1"> <thead> <tr> <th>③自ら直接埋立処 分又は海洋投入処 分した量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④自ら中間処理した 量</td> </tr> <tr> <td>⑤④のうち熱回収を 行った量</td> </tr> <tr> <td>⑥自ら中間処理 した後の残さ量</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理 により減量した量 0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑨自ら中間処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分した量</td> </tr> <tr> <td>⑩直接及び自ら中間処理した 後の処理委託量 0.0 t</td> </tr> <tr> <td>⑪⑩のうち優良認定処理業 者への処理委託量</td> </tr> <tr> <td>⑫⑩のうち再生利 用業者への処理委 託量</td> </tr> <tr> <td>⑬⑩のうち熱回 収認定業者への 処理委託量</td> </tr> <tr> <td>⑭⑩のうち熱回 収認定業者以外の 熱回収を行う業 者への処理委 託量</td> </tr> </tbody> </table>		③自ら直接埋立処 分又は海洋投入処 分した量	④自ら中間処理した 量	⑤④のうち熱回収を 行った量	⑥自ら中間処理 した後の残さ量	⑦自ら中間処理 により減量した量 0.0 t	⑨自ら中間処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した 後の処理委託量 0.0 t	⑪⑩のうち優良認定処理業 者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利 用業者への処理委 託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者への 処理委託量	⑭⑩のうち熱回 収認定業者以外の 熱回収を行う業 者への処理委 託量
項目	実績値																																			
①排出量	0.0 t																																			
②+⑧自ら再生利 用を行った量	0.0 t																																			
⑤自ら熱回収を行つ た量	0.0 t																																			
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.0 t																																			
③+⑨自ら埋立処分 又は海洋投入処分を行つ た量	0.0 t																																			
⑩全処理委託量	0.0 t																																			
⑪優良認定処理業者 への処理委託量	0.0 t																																			
⑫再生利用業者への 処理委託量	0.0 t																																			
⑬熱回収認定業者へ の処理委託量	0.0 t																																			
⑭熱回収認定業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	0.0 t																																			
③自ら直接埋立処 分又は海洋投入処 分した量																																				
④自ら中間処理した 量																																				
⑤④のうち熱回収を 行った量																																				
⑥自ら中間処理 した後の残さ量																																				
⑦自ら中間処理 により減量した量 0.0 t																																				
⑨自ら中間処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分した量																																				
⑩直接及び自ら中間処理した 後の処理委託量 0.0 t																																				
⑪⑩のうち優良認定処理業 者への処理委託量																																				
⑫⑩のうち再生利 用業者への処理委 託量																																				
⑬⑩のうち熱回 収認定業者への 処理委託量																																				
⑭⑩のうち熱回 収認定業者以外の 熱回収を行う業 者への処理委 託量																																				

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。